



地球と家族を考える会 県北・県中・県南・会津・いわき

[グループの特徴とメッセージ]

- 地球と家族を考える会は、家族、地域、地球環境全てに良い住まいを提供したいとの想いから、住まい造りに関わる職人たちが集まって作りました。
- 福島の杉を中心に自然素材と自然エネルギーにこだわった「ふくしまの家KUMIKO」は、シックハウスの原因となる新建材を極力使わない、アトピーの家族にも安心な住まいです。
- 無垢の木と木を組み合わせる板倉構法はこの度の地震にも全く問題なく、耐震性に富んでいることが実証されました。
- KUMIKO木の家講座「森の木が家になるまで」で、樹木の魅力・木が材木になる過程を学ぶ講座を開催しています。

[地域型復興住宅のイメージと特徴]

土に還る自然素材にこだわった環境負荷の少ない家

- 主材となる柱や梁に杉の無垢材を使うことはもちろんのこと、身体に直接触れる床・壁・天井にもふんだんに杉の無垢板を使い、柔らかく温かな居住空間を作ります。
- 断熱材も木から生まれたセルローズファイバーを使い、人体にも地球環境にも負荷をかけない住まいです。

低炭素社会をつくるサステナブルな住まい

- 木材を主材料にした住まいは、CO²を構造体内に固着し、低炭素社会の実現に貢献します。
- 地産地消の住まいは建材の長距離運搬によるCO²の拡散を抑制します。
- 次世代ソーラーシステム「そよ風」で冬暖かく、夏涼しい自然エネルギーを活かした住まいです。



母屋1階平面図(65㎡≒19.7坪)
母屋合計面積=93㎡(≒28坪)



母屋2階平面図(28㎡≒8.5坪)



グループの基本情報

| | |
|--------|--|
| 所在地 | 郡山市開成 4-28-17 (建築工房内) |
| グループ構成 | 合計40社 (原木供給/2社、製材/4社、建材流通/4社、プレカット/1社、設計/9社、施工/18社、その他/2社) |
| 代表者名 | 嶋影健一 (一級建築士・有) 建築工房代表 |
| 主な受賞歴等 | ・平成21年長期優良住宅先導事業採択 (実績1棟) ・応急仮設住宅 ・木の家講座「森の木が家になるまで」開催 (年7回) |
| 連絡窓口 | 担当: 羽生拓希 [メール] earth-family@k2.dion.ne.jp [電話] 024-923-5400 [FAX] 024-923-4829 |
| ホームページ | http://www.earth-family.co.jp |

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

| | |
|---|-------------------------------|
| 主な構造・工法 | 板倉工法・車田組工法 |
| 価格帯 | 2,000万円～ |
| 価格の基準面積 | 90㎡～ |
| 価格に含まれない項目 | 地盤補強工事費、給排水工事費、外構工事費、設計料、諸手続費 |
| *価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。詳しくはお問い合わせください。 | |